



ピレリスーパー耐久シリーズ 2020  
第4戦 もてぎスーパー耐久 5 Hours Race

2020年11月20日(土)~21日(日)  
ツインリンクもてぎ(栃木県)  
入場者数: 11月20日 5,000人  
11月21日 7,500人

魅せたスピード。ミスなき走り  
チーム一丸で初の2位表彰台獲得!

### FREE PRACTICE

第3戦岡山で見事初完走を果たし、シーズン後半戦へ向けてたしかな手ごたえを得た KTMS。参戦3戦目となる第4戦の舞台はツインリンクもてぎだ。チームは 11月 19日(木)の特別スポーツ走行から走行を重ね、野中誠太、平良響、翁長実希という3人のドライバーたちが KTMS 86 を駆り周回を重ねていった。

走行2日目となる11月20日(金)は、午前9時30分から専有走行がスタートした。まずは平良からコースインすると、野中に交代。ふたたび平良がドライブし、2分11秒721というベストタイムで、

ST-4クラスの3番手で走行を終えた。

午後2時から行われた専有走行は、全クラスが参加し2時間のセッションが行われた。事前に雨の予報もあったものの、ドライコンディションのまま行われた。

KTMS 86 はふたたび平良からコースインし、野中に交代。10周をこなすと、翁長に交代。翁長は初めてのもてぎということもあり、習熟を兼ね 20周を走り2日間の走行を締めくくると、11月21日(土)午前のウォームアップで、公式予選前のすべての走行を順調に終えることになった。



11/20 STEL 専有走行1回目 ST-4 結果

Pos.	No.	Car Name	Time	Laps
1	884	林テレンプ SHADE RACING 86	2'10.448	22/24
2	13	ENDLESS 86	2'11.338	21/21
3	225	KTMS 86	2'11.721	21/22
4	310	GRGarage 水戸インター GR86	2'11.858	22/22
5	60	全業工業アルージェインテグラ	2'14.210	7/18

11/20 STEL 専有走行2回目 ST-4 結果

Pos.	No.	Car Name	Time	Laps
1	884	林テレンプ SHADE RACING 86	2'12.776	7/45
2	310	GRGarage 水戸インター GR86	2'12.870	14/32
3	225	KTMS 86	2'13.327	15/45
4	13	ENDLESS 86	2'13.786	31/31
5	60	全業工業アルージェインテグラ	2'14.446	18/23

11/21 ウォームアップ走行 ST-4 結果

Pos.	No.	Car Name	Time	Laps
1	884	林テレンプ SHADE RACING 86	2'12.323	10/20
2	13	ENDLESS 86	2'13.017	8/18
3	310	GRGarage 水戸インター GR86	2'13.258	5/19
4	225	KTMS 86	2'13.874	8/19
5	18	Weds Sport 86	2'14.941	17/17

### QUALIFY

迎えた11月21日(土)の公式予選。やや冷たい風が吹くなか、午後1時からスタートした公式予選では、まずは野中がアタックを展開すると、2分12秒086という好タイムを記録。さらに2分11秒044にタイムを上げ、野中はAドライバー予選で2番手につけた。

Gr.1、Gr.XのAドライバー予選をはさみスタートしたBドライバー予選に挑ん

だのは、もてぎを得意とする平良。2分10秒696というタイムを記録すると、さらに6周目には2分10秒411へタイムを刻み2番手に。この結果、合算で4分21秒555というタイムで、参戦以来最上位となる2番手につけてみせた。このBドライバー予選の後には、翁長もすっかりとラップを重ね、KTMSは良い雰囲気ですべて公式予選を終えることになった。



11/21 第4戦もてぎ公式予選 ST-4 結果

Pos.	No.	Car Name	Combined	A Driver	B Driver
1	884	林テレンプ SHADE RACING 86	4'20.089	2'10.217	2'09.872
2	225	KTMS 86	4'21.410	2'11.044	2'10.366
3	13	ENDLESS 86	4'21.787	2'11.343	2'10.444
4	310	GRGarage 水戸インター GR86	4'22.666	2'11.392	2'11.274
5	60	全業工業アルージェインテグラ	4'24.096	2'11.927	2'12.169

### RACE



公式予選から一夜明け、迎えた11月22日(日)の決勝日。午前中こそ曇天だったものの、少しずつ晴れ間が広がりはじめると、午前11時、5時間の長い耐久レースの決勝がスタートした。KTMS 86のスタートドライバーを務めたのは平良。KTMSとしては3戦目のレースだが、これまでの2戦はGr.2だけでのレース。はるかにペースが速いGr.1のマシンが後方から迫ってくるレースは、3人にとっても初めてのことで。

しかし、スタートドライバーを務めた平良は序盤からきっちりと対処しつつ、2番手につけ前をいく#884 86を追う。

平良は37周を走りきっちりと任務をこなすとピットインし、今度は野中に交代する。今回もST-4クラスは僅差の争い

で、ピットのタイミングで#13 86、さらに#310 86に先行を許すものの、野中は離されることなくクラス4番手につけ、上位争いを展開していった。

この粘りの走りが、KTMS 86に味方する。スタートから1時間20分を過ぎるころ、#310 86にドライブスルーパネルティが課される。これでKTMS 86はひとつポジションを上げると、スタートから2時間というところでピットへ。野中から翁長に交代する。

翁長も慣れないクラス上位のマシンの走りをごなしながら、安定したペースで周回。この頃には首位に#884 86、2番手に#13 86、そして3番手にKTMS 86と続く順位がほぼ固まりはじめた。翁長の走りは4番手の#310 86を寄せ付けず、しっかりと第3ステントをごなしきると、自らのステントを終えピットイン、ふたたび平良に交代した。

平良はコースに戻ると、#884 86、#13 86に続く3番手につける。このまま走りきれば、チーム初の表彰台が見えてくる。上位陣の差はかなり広がっており、平良のミッションはこのまましっかりとフィニッシュまで走りきることだった。

ところがレースも終盤となった131周目、なんと2番手を走っていた#13 86がスロウダウンを喫した。ゆるゆるとバックストレートを走る#13 86の横を平良のKTMS 86が駆け抜ける。これでいよいよ2番手に浮上することになった。

チェッカー間際、フルコースイエロー(FCY)が導入されるが、トップの#884 86は大きなリードを守りチェッカー。そしてこれに続き5時間の長い戦いを走りきったKTMS 86は、夕陽が照らすなかチェッカー! チーム初、そして野中、平良、翁長の3人にとって初めてのスーパー耐久での2位を勝ち取ることになった。第2戦での悔しいクラッシュの幕開けから1ヶ月強。3人の若者たちは、力強く成長した姿で表彰台に上った。



### DRIVER'S VOICE

#### 野中誠太 SEITA NONAKA

「2位表彰台は素直に嬉しいです。前はスタートドライバーを担当していましたが、今回は第2スティントを担当していたので、比較的リラックスして臨むことができました。前戦ユーズドタイヤのタイムが悪かったのですが、後半まで速いペースで走ることができました。今回その点を改善することができましたし、自信をもてたと思います。とはいえ今回は混走のレースで、速いマシンへの譲り方などロスもあったので、その点は今後課題にしていきたいですね。次戦のオートポリスはまだ経験は少ないですが、良い勉強をしながら自信をもって、楽しく走りたいと思います」



#### 平良響 HIBIKI TAIRA

「レースでは 80 分を2回走りましたが、少しキツかったです。体力を鍛えないといけませんね。でも、その甲斐あって2位表彰台を獲得できたので、最高に嬉しいです！

2位はラッキーな部分もありましたが、チーム全体の實力でも3位にはなれたと思いますので、やっぱり嬉しいです。今回のもてぎは F4 との違いで当初戸惑いましたが、予選でも良いタイムを出すこともできましたし、アジャストできたのではないのでしょうか。オートポリスはまだ慣れておらず不安もありますが、チームが一丸となって、ドライバーもコミュニケーションをとりながら、また表彰台に乗りたいです」



#### 翁長実希 MIKI ONAGA

「今回のレースでは表彰台ももちろん嬉しいですし、初めてのもてぎでタイムを落とさず、まわりを見ながら走るという目標を達成できたのではないかと考えています。そしてチームメイトも一生懸命走ってくれ、クルマも何事もなくチェッカーを受けることができたので、強いクルマを仕上げてくれたチームに感謝しています。次戦のオートポリスも初めて走るようになりますが、事前にシミュレーターで準備をしていきたいと思います。こうして経験を積ませていただいている神戸トヨペット様に本当に感謝ですし、このスーパー耐久を通じてたくさんのものを得たいと思います」



11/22 第4戦もてぎ 決勝レース ST-4 結果

Pos.	No.	Car Name	Laps	Time	Best Lap
1	884	林テレンプ SHADE RACING 86	132	5:01'51.489	2'11.914
2	225	KTMS 86	132	5:02'04.635	2'12.049
3	310	GRGarage 水戸インター GR86	132	5:02'34.325	2'12.481
4	18	Weds Sport 86	130	5:00'25.644	2'13.857
5	60	全業工業アルージェインテグラ	130	5:02'12.698	2'13.386

